

0歳児の年の計画

※各領域における保育の内容は、養護における「生命の保持」及び「情緒の安定」に関わる保育の内容と、一体となって展開されるよう留意しています。

(0歳児研究グループ)

期・季節	Ⅰ 期 (4月～5月)		Ⅱ 期 (6月～9月)		Ⅲ 期 (10月～12月)		Ⅳ 期 (1月～3月)	
テーマ	保育者や他児との出会いを楽しむ		沐浴を喜び、水遊びを楽しむ		よく食べて眠って、楽しく遊ぶ		大きくなった、もっと大きくなるよ	
保育者の連携(◎)	<p>●入園前の一人ひとりの子どもについて、一日24時間の生活リズムを把握し、生活の流れを共通理解して保育を開始する。</p> <p>◇特定の保育者と気持ちが通じ合うように、授乳や排泄、午睡などの関わり方などを伝え合い、信頼関係を築く。</p>		<p>●沐浴は、特定の保育者が担当の子どもをスムーズに介助できるように、役割分担について具体的に話し合う。</p> <p>◇人見知りや悩む保護者には、園では特定の保育者の後追いをしている姿などを伝えて、愛着関係が形成されていることを話し合い、プラスの育つ姿であることを共通理解する。</p>		<p>●子どもの食欲や睡眠状況などを、保育者間で詳しく伝え合う。室内と戸外での遊びの役割分担をして、絵本や歌、造形遊びなどの内容について具体的に検討する。</p> <p>◇探索活動に興じる姿について、安全面に配慮して繰り返し楽しめる方法を話し合う。</p>		<p>●進級に向けて、子どもの成長や発達過程を把握して次年度への申し送りの内容について共通理解をする。</p> <p>◇入園の頃を振り返り、子どもから主体的な姿が増えて、自分でしようとする行動や「学びの芽生え」について具体的に伝え合い、一年間の成長の喜びを共有する。</p>	
発達	6か月未満	6～9か月未満	9～12か月未満	12か月～1歳3か月未満		1歳3か月～1歳6か月未満	1歳6か月～2歳未満	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○首が据わり、腹ばいになると頭を上げ寝返りを打てるようになる。 ○目の前の物を、じっと見つめてつかもうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○腹ばいから座ったりはったりする。 ○人見知りで保護者と離れる際に泣く。 ○離乳食は7～8か月頃から種類や量も増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「あーあー」「まんま」などの喃語を言う。 ○目の前にあるものを、指さして三項関係が成立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歩行が始まり、簡単な言葉を話す。 ○手づかみや、スプーン、コップを持って一人で食べようとする。 ○探索活動が盛んになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○食べる量に個人差が大きい。 ○担当保育者に愛情を示し、褒められると喜び得意になる。 ○指さし、身振り、二語文を話します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「いや」「じぶんで」と言って、何でも自分でしたがる。 ○つまむ、めくるなどして指先を使う。 ○言われると行動をやめたりする。 	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○生理的欲求が満たされ心身ともに安定して過ごす。 ○特定の保育者とふれあって、心地良く過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定の保育者に甘えなどを満たしてもいい、情緒が安定して過ごす。 ○共感的なコミュニケーションを取ってもらい、発語の意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな食品を食べる経験を通して、自分から進んで食べる。 ○自然物や玩具などと接し、感覚や運動的な遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活リズムが安定し、食事や排泄など保育者と一緒にする。 ○自然物や身近な用具や玩具に興味をもって、遊ぶようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○歩行が安定し、安全な環境の中で、活動範囲を広げる。 ○保育者と関わる中で、言葉を覚え、簡単な言葉で伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者に親しみ、感情を表出する。 ○見立て遊び、つもり遊びを楽しむ。 ○他児にも関心を示し、喜んで交わろうとする。 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○特定の保育者に抱かれて、ミルク(母乳)を満足するまで飲む。 ○安心して寝入ったり、目覚めたりする。 ○おむつ交換のとき、手足を動かす。 ○体調の良いとき、沐浴をしてもらい、心地良く過ごす。 ○特定の保育者に抱かれたり、語り掛けてもらったりして安定した気持ちになり喜びを味わう。 ○落ち着いた雰囲気や、抱いたりあやしたり、語り掛けたりしてもらい、安定した気持ちと喜びを味わう。 ○機嫌の良いときは盛んに音声や喃語で話し、音声や泣き声で要求を表す。 ○目覚めるとき、ガラガラなどの玩具を近づけると、じっと見つめる。 ○ベビージムのつるし玩具を見ながら、手を上げて触わろうとする。 ○天気の良い日には、保育者に抱かれたりベビーカーに乗ったりし、花やチョウを見て機嫌良く過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳初期食から中期食を食べ始め、モグモグしながら飲み込むようになる。 ○おむつ交換のとき、手足を動かしたり、寝返りをしようとしたりする。 ○薄着にしてもらい、活発に手足を動かす。 ○少しずつまとまった時間、眠るようになり、機嫌良く目覚める。 ○沐浴を喜び、爽やかになった気持ち良さが分かる。 ○見知らぬ人には泣くが、身近な人には声を出して呼び、応えに対して音声や喃語でのやり取りを喜んでする。 ○体を支えられて、身近な大人の膝の上で足をピョンピョン跳ねて遊ぶ。 ○頭からスカーフなどをかぶせてもらい、「いないいない…」と語り掛けてもらうなどして、スカーフなど取って遊ぶ。 ○興味のある玩具は、つかんで見つめたり、しゃぶったり、振ったりして一人遊びをする。 ○音を聞く、物を見る、握るなどの動きを十分にさせる。 ○玩具や身の回りの物を、たたき、引っ張るなど、手を使って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳後期食を食べ、食材の種類や量が増える。手づかみで食べたり、スプーンを使ったりする。 ○安全な所で十分にはいはいをする。 ○ほぼ決まった時間帯に眠り、目覚めると「あーあー」と声を出して知らせる。 ○いやがらずに手や足を拭いてもらう。 ○「まて、まて…」と追い掛けられると喜んではって逃げる。 ○応答的なふれあいやことばがけによって、欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。 ○保育者が、引っ張り玩具を近くに持ってくる、うれしそうに押ししたり、引いたりして、やり取りを楽しむ。 ○温かく受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。 ○ベビーカーに乗って、戸外や散歩に行くことを喜び、物や鳥や犬など動物に興味を示す。 ○紙を破ったり、物を落としたりして楽しむ。 ○音の出る玩具を好み、太鼓をたたいたり、ラッパを吹いたりして遊ぶ。 	<p>心と体の健康・人との関わり・環境との関わり・言葉の育ち・表現する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○軟飯から幼児食に慣れ、手づかみ食べやスプーンを使って食べようとする。 ○午睡はぐっすりと、1回寝になる。 ○衣服の着脱のとき、自分から手足を動かして脱ごうとする。 ○探索活動が盛んになり、ベッドの下などで遊んでいるところを保育者に見つけてもらい、喜ぶ。 ○歩行が始まり、歌い掛けてもらおうと、笑顔で応える。 ○戸外で、砂や石、落ち葉などの自然物に触れて遊ぶ。 ○人形を寝かして、「うねーんね…」と、歌ったり、なでたりして保育者のしぐさをまねする。 ○食事の前後の「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶のとき、「すー」「たー」と言いながら手を合わせる。 ○絵本を読み終わると、人さし指を立てて「もう一回、読んで…」と、意思を表す。 ○散歩のとき、車や犬を見ると、「ブーブー…」「ワンワン…」と何度も言って、オノマトペを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ○幼児食を手づかみで食べ、スプーンやコップを使って自分で食べようとする。 ○自分の布団が分かり、そこへ行って寝ようとする。 ○保育者に顔を拭いたり手を洗ったりしてもらい、気持ち良さを味わう。 ○オマルや便器に興味をもって、おむつをしたまま座ろうとしたりする。 ○上る、下りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなどの運動を取り入れた遊びを楽しむ。 ○他児の行動に関心を示し、関わろうとする。 ○砂場で、異年齢児のままごと遊びなどに入れてもらい、楽しむ。 ○好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。 ○生活の中の簡単な言葉を使おうとする。 ○保育者に絵本を読んでもらったり、手遊び、まねっこ遊びをしたりしながら、簡単なやり取りを楽しむ。 ○名前を呼ぶと、「はい」と手を上げて応え、やり取りを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児食から普通食を食べ、コップでお茶を飲む。 ○食事の前後や着替えなどの活動を通じて、自分でしようとする気持ちが芽生える。 ○衣服の着脱のとき、ズボンを上げようとしたり、脱いだりする。 ○他児の行動に関心を示し関わりをもとうとする。 ○保育者に絵本を読んでもらったり、手遊びやまねっこ遊びをしたりしながら、簡単な単語を発する。 ○1歳児の部屋に入って過ごすことに、興味をもって楽しむ。 ○食事中、満腹になったり、食べなくなったりするときは、しぐさや言葉で表す。 ○絵本や玩具などに興味をもったり身近な音楽に親しんだり、それに合わせた体の動きを楽しんだりする。 ○リズムカルで簡単な歌や手遊び、わらべうた遊びなどのふれあい遊びを楽しむ。 	